



今年の干支は「己亥」です。干支とは、正式には「十干十二支」といい、十干とは、甲乙丙丁戊己庚辛壬癸の十、十二支は子丑寅卯辰巳午未申酉戌亥の十二から成ります。

十干は、木火土金水の五行を基本としており、例えば甲は「きのえ」、乙は「きのと」と呼び、それぞれ「木の兄」「木の弟」という意味で兄は陽、弟は陰を指し、陰陽五行説の暦法の一つです。十二支はその木火土金水から成る、生命のうごきを表したものが本義で、誕生から次の生命への流れを表していますが、覚えやすいように動物が当てはめられたのが、いまの干支です。

その干支の中でも、本年は己亥(つちのとい)年で陰陽五行に則れば、「己(つちのとい)」は土性の陰年を示し、前年の繁栄をまとめる年まわりとされます。十二支の亥の字は、干支が考察された古代中国では、果実が土へと落ちたあと、その種子にチカラを閉じ込めた様を表した漢字で、いよいよ新しきチャレンジに挑む年ともいえます。

この己亥の年を終じて判じますと、これまでの事を整理して、いよいよチャレンジに移る年といえるのかもしれない。

また動物のイノシシに目を移しますと、イノシシは例え自分よりも大きくても立ち向かう動物であり、またそれは何の為に挑むのかというと、大切な家族や仲間を守る為であり、外には勇気をもって立ち向かい、内には慈しみの心で接する動物といえます。ちなみに亥の字は日本ではイノシシが当てられています。中国ではブタが当てられており、これは日本に干支が入ってきた当時ブタがいなかったため、近い種のイノシシが当てられたものと考えられています。

しかしながら、日本におきまして亥年というのは災害の多い年まわりでもあります。関東大震災、阪神大震災、宝永地震、富士山噴火、伊勢湾台風と大規模災害は亥年に発生しております。

どうぞこの年が大神さまに見守られての、勇気を持ってチャレンジする年となる一方、災害への備えを心新たに、また平成も四月までで、五月からは新しき御代となります。どうぞこの慶節、皆様のご健康とご多幸を祈念し、ご平安の御祝詞申し上げる次第です。

梅田はイノシシのふるさと?

日本の文献の中で、動物のイノシシ(神さまの化身は除く)が初めて登場したのはどこか。それは、日本最古の文献である古事記、日本書紀によれば、古墳時代の神功皇后摂政前期に「トガノ」という地で行われた狩りの最中に現れた怒った赤いイノシシが初見であり、その場所は実は梅田である可能性が非常に高いとされています。

このトガノの地については諸説ありますが、現在の北区兎我野町がその比定地として有力であり、もしこの兎我野町だとすれば梅田は日本のイノシシの記録の最古の地といえます。

ちなみにこの時のイノシシは、幼い応神天皇を亡き者にしようと悪企みをした皇子を倒したとされ、この故事が所以となって生まれた和菓子が亥の子餅です。力強いイノシシは古代の人々にとっても悪しきを破る象徴だったのかもしれない。

厄年の御祈禱

当神社では厄年の厄除け祈禱を受け付けております。左表にもあります通り、それぞれ厄年がございますが、特に数え年の男性四十二才(昭和五十三年生)、女性三十三才(昭和六十二年生)の本厄の方は、大きな厄年となります。

厄除け祈禱はそういった年回りに、災厄が訪れないようにと祈る御祈禱で、一月〜二月の時期にお受けになられるのが吉とされています。当神社での御祈禱はご予約制ですので、事前にお電話等でご予約下さい。(初穂料五千元)

御本社(神山町) 〇六六三六一二八八七  
御株社(茶屋町) 〇六六三七一二一五八六

男 性		
前厄	本厄	後厄
平成 8年生(子) 24歳(小厄)	平成 7年生(寅) 25歳(中厄)	平成 6年生(辰) 26歳(小厄)
昭和 54年生(未) 41歳(中厄)	昭和 53年生(午) 42歳(大厄)	昭和 52年生(巳) 43歳(中厄)
昭和 35年生(子) 60歳(小厄)	昭和 34年生(寅) 61歳(中厄)	昭和 33年生(辰) 62歳(小厄)

背景が黄色は大厄、黄色は中厄、白色は小厄です。なお記載の年齢は数え年です。

女 性		
前厄	本厄	後厄
平成 14年生(午) 18歳(小厄)	平成 13年生(巳) 19歳(中厄)	平成 12年生(辰) 20歳(小厄)
昭和 63年生(寅) 32歳(中厄)	昭和 62年生(卯) 33歳(大厄)	昭和 61年生(寅) 34歳(中厄)
昭和 59年生(子) 36歳(小厄)	昭和 58年生(寅) 37歳(中厄)	昭和 57年生(辰) 38歳(小厄)
昭和 35年生(子) 60歳(小厄)	昭和 34年生(寅) 61歳(中厄)	昭和 33年生(辰) 62歳(小厄)



網敷天神社 SNS、地図サイト

編著 網敷天神社

禰宜(御株社 神主)  
白江 秀 知

